



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
 URL:http://www.mokusankyo.jp
 E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次

- 1. 広葉樹シンポジウム開催！
- 2. 全木連東北支部会議開催について
- 3. 児童木工工作コンクール開催!!
- 4. 素材生産部会情報交換会開催！
- 5. 日本一芋煮会鍋太郎の蓋、製作！
- 6. シリーズ森林・林業白書解説！



1 広葉樹利用拡大シンポジウム開催!!

9月13日(木) 持続的な広葉樹利用による地域再生をテーマにした「地域再生シンポジウム2018in 山形」が、米沢市金池の置賜総合文化センターで県内外から約100名が参加し開催された。

「広葉樹の持続的生産にかかわる研究」と題し東北大学大学院教授清和研二氏と「広葉樹の利用拡大」と題し森林総合研究所東北支所森林資源管理研究グループ長天野智将氏が講演した。その後、各地域の実践事例を「ブナ林の資源評価と活用のため



のネットワーク」と題し、新潟大学名誉教授の紙谷智彦氏、「国産広葉樹と市場をつなぐ持続可能なものづくり」と題し、オークビレッジ(株)事業部長の佐々木一弘氏、「近畿圏の中山間地における広葉樹利用について」と題し、森総研関西支所主任研究員の山下直子氏、「山形県における新たな広葉樹利用の動きと課題」と題し、国土防災技術山形支店参事の佐藤恒治氏らが報告した。最後に、森総研東北支所調整監田端雅進氏をモデレータとし、講演者・事例報告者6名をパ

ネリストとして、「広葉樹の適正な管理と資源の利用拡大に向けて」と題し、パネルディスカッションで会場参加者も含め意見交換を行った。木産協からは、副理事長で県広葉樹利用拡大協議会会長の(有)アイタ材木店社長會田悦陸氏と副理事長(株)アイタ工業社長相田吉則氏が参加し、県産広葉樹材の普及PR活動を実施した。

14日(金)は山形県内の広葉樹の活用事例見学として、飯豊町の「源流の森」の広葉樹林と長井市のけん玉工房、米沢市の木ロック工場等視察した。

本シンポジウムは、森林総合研究所と東北大学大学院農学研究科が主催で、山形県や県広葉樹利用拡大協議会、県木材産業協同組合が共催後援しており、これまで岩手県、新潟県で開催している。



2 全国木材組合連合会東北支部会議開催!!

9月18～19日全木連東北支部会議（支部長：齋藤渉）が南陽市「御殿守」を会場に開催された。全木連本部から来賓として常務理事森田一行氏が出席し、東北各県から県木連理事長と専務理事12名が出席した。

始めに齋藤支部長（青森県木連理事長）が開会の挨拶、続いて開催県である阿部昭理事長が歓迎の挨拶を述べ、平成30年度全国木材組合連合会東北支部総会が始まった。

支部事業実績や事業計画・予算等は原案どおり承認された。次期開催県は、秋田県で承認された。役員改選については、前全木協連東北支部長の朝田福島県木連理事長が退任したため空席となっていたが、協議の結果、齋藤全木連東北支部長に兼務していただくことで了承された。議事が終了し、意見交換の前に国内外の木材の動向や中央情勢について森田常務からクリーンウッド法やJAS利用拡大事業、外国人労働者支援事業などの情報提供があった。



3 山形県児童木工工作コンクール審査会開催!!



9月13日（金）山形市中央公民館（AZ七日町）5Fミニギャラリーにて、第43回山形県児童木工工作コンクール（主催：山形県木材青壮年協議会会長松田芳明（株松田木材））審査会が開催された。実行委員長吉田隆宏（有丸三製材所）が進行し、各審査委員が県内各地から推薦された77作品について実施要領等に基づき厳正な審査を実施した。その結果、山形県知事賞に、作品名「かた屋根のログハウス」山形市立第二小4年奥山祥吾君、東北管理局長賞に、作品名「木の妖精」山

形市立東小3年鈴木美羽さん、木産協理事長賞に、作品名「森のおみせ」山形市立西山形小4年飛塚すばる君、県木青会会長賞に、作品名「木で休むふくろう親子」山形市立東小3年伊藤拓海君、日本木青連会長賞に、作品名「木で作ったカレンダー」山形市立蔵王第一小2年結城璃音君が選ばれた。作品はAZ七日町で展示された後、9/18から県庁ロビーで展示されている。表彰式は10/13（土）14時、林業まつり会場で実施される。

4 素材生産部会役員と協和木材(株)役員との初の情報交換会開催!!

9月12日（水）新庄市協和木材(株)会議室において、協和木材から沼子常務、菊池工場長、菅野課長、素材部会から遠田部会長、佐藤（久）副会長、小関副会長、大隅統括理事が出席し、終始和やかな雰囲気の中、初めての顔合わせと意見交換が実施された。

お互いがそれぞれの立場から意見を述べ合い、認識の違いも見られたが、お互いの考え方を知るうえで有意義な会となり、今後も継続していくことで合意した。素材生産量については、今年度4～8月までで約9,200 m³を納入しており、昨年同期の約3,600 m³と比較して約3倍と大幅に増加しており、協和木材側からお礼をいただいた。また、最近の大雨による影響（搬出路等道路関係）や生産請負の時期となることから、今後の納材の懸念を伝えた。

5 「日本一の芋煮」ギネス認定と鍋太郎の木製蓋デビュー!!

9月16日（日）第30回日本一の芋煮会フェスティバル（山形市馬見ヶ崎川河川敷）が開催され、「8時間で最も多く提供されたスープ（芋煮）」ギネス世界記録が認定された。この大鍋三代目鍋太郎は直径が6.5mあり、芋煮材料は、里芋3トン、牛肉1.2トン、ネギ3,500本、コンニャク3,500枚、しょうゆ700リットル、隠し味の地酒50升を使い、約3万食分を調理した。

さて、この偉大な鍋太郎の木製蓋ですが、オール金山杉で仕上げ、大鍋に合わせて蓋も直径約6m厚さ4cm重量800kgで、新庄市の榊沼澤工務店（沼澤貞義社長）が約1か月かけて製作した。幅23cmで長さが2～6m板材28枚を使用した。「相じゃくり加工」により、板の隙間から熱を逃がさないようにし、表面部には長短の角材45本を補強として使った。取っ手の機能も持たせ、クレーンで吊り下げる際にも活用する構造とした。運搬時には10個のパーツに分解できる。沼澤社長は、「山形を代表するイベントで使われるのは名誉なこと。鍋本体と蓋、芋煮のすべてが県産になる。山形らしいもてなしになるのでは」と話した。



6 シリーズ森林・林業白書 解説（第3章）

第3章. 林業と山村（中山間地域）

我が国の林業は、長期にわたり産出額の減少や木材価格の低迷、林業従事者の高齢化等厳しい状況が続いてきた。近年、国産材需要の高まり（合板等）やバイオマス発電等による低質材の需要拡大により生産量は増加し、木材自給率の上昇等活力を回復しつつある。素材価格も近年横ばいで推移している。中でも、高性能林業機械の保有台数の推移はフォワード、プロセッサを中心に毎年1割程度確実に増加している。また、山村（中山間地域）の動向として、過疎化及び高齢化の進行、適切な管理が行われない森林の増加等の問題を抱えている。林野庁では、地域の森林資源の循環利用を進め、林業の成長産業化を図ることにより、地元利益を還元し、地域の活性化に結び付ける取組を推進するため、「林業成長産業化地域創出モデル事業」を実施している。

7 10月以降の行事予定

10月5日	森創会20周年記念祝賀会（新庄市）	理事長他
10月6日	むらやま「森の感謝祭」（中山町）	専務
10月8日	吉村美栄子と語る会（山形市）	副理事長・専務
10月13-14日	第28回山形県林業まつり（天童市）	理事長他
10月18日	第53回全国木材産業振興大会（広島市）	理事長・副理事長
10月23日	農林漁業信用基金都道府県相談員会議（東京）	専務
10月29日	木産協三役会議（米沢市）	理事長他

平成31年度（国庫補助）林業成長産業化関連事業要望調査中!!

只今、標記事業（工場等施設整備や高性能林業機械導入支援等）の要望調査中です。各市町村農林課・産業課、又は総合支庁森林整備課にお問い合わせ下さい。締切は10月5日です。

8 9月定例県議会速報!! (9月28日本会議一般質問)

「やまがた森林ノミクスにおける広葉樹資源の活用について」

青木彰栄議員 (西置賜郡：白鷹町) 農林水産常任委員会委員長

森林ノミクス推進条例の制定以降、県内各地で公共施設の木造化やバイオマス発電施設の整備が進み、人工林資源の利用拡大が進んでいる。一方で本県は天然のブナ林を始めとする広葉樹資源に恵まれている。特に置賜地域では木地物や玩具、コケシ、その他生活用品等にも幅広く利用され、「木の文化」を形成してきた。上杉家10代藩主鷹山公の殖産興業政策の中では、養蚕と織物の振興のため、桑の植栽、和紙の原料となるコウゾの植栽、サワグルミの笹野一刀彫等の特産品の奨励など高付加価値商品の開発にも結び付く施策を行っている。まさにやまがた森林ノミクスに相通じる施策であり、様々な分野で広葉樹資源を活用していくべきと思うが県の取組はどうか。



駒林農林水産部長 広葉樹は本県民有林面積の53%に当たる約16万haを占め、その4割が置賜地域である。広葉樹材は、一般に木目が複雑で美しく、硬くて丈夫な特徴を有しており、建築など様々な分野で活用が進むよう取り組んでいる。昨年、県内の製材工場や市場事業者をメンバーとした「山形県広葉樹利用拡大協議会」を立ち上げ、県産広葉樹材のパフレットの作成やフローリング等の製品サンプルを作成し、林業まつりや各種イベントで仙台圏や首都圏での出展を行いながら、利用拡大を図っている。また、クロモジ等の広葉樹の香りにも着目しており、7月に「山形県森林の香りネットワーク会議」を開催し、「林工連携コンソーシアム」とも連携を取りながら、各分野の広葉樹資源の活用を進めていきたいと考えている。

9 国等からのお知らせ

林野庁 ・10月は「木づかい推進月間」10月8日は「木の日」各地でイベント開催します。

テーマは「木の香りで心も体もリラックス」です。

・林野庁ロビーに山形県の木製品を展示中 (10/1~11/30)

・林業退職金共済制度加入促進強化月間です。

国交省 ・改正建築基準法の一部が、平成30年9月25日から施行されます。

(木造建築物等である特殊建築物の外壁等に関する規制の廃止等)

厚生労働省 ・平成30年度全国労働衛生週間 (10/1~10/7)

スローガン「こころとからだの健康づくり みんなで進める働き方改革」

東京都 ・WOOD コレクション (モクコレ) 2019 出展者募集中! (東京ビッグサイト 1/29~)

10 日本百名山シリーズ紹介 (間ノ岳)

日本第3位の標高3,190mで、穂高と同標高となっている。南アルプス北部の白峰三山 (北岳、間ノ岳、農鳥岳) の真ん中に位置し、北岳と間ノ岳は3,000mの稜線歩きを約3時間満喫できる日本で唯一のコースと思っている。この山には麓から直接登る登山道はなく、北岳か農鳥岳、塩見岳を経由するコースを選ぶことになる。いずれの場合も山頂まで1泊以上の上級者向けになるが、稜線の目の前には巨大な富士山を眼下に見下ろし、雷鳥を従え、高山植物の絨毯を歩くイメージで、南アルプスの一番人気のスポットでもある。山頂は広々とした岩稜地帯で多くの登山者がゆっくりと360度のパノラマを楽しんでいる。登山基地の一つ広河原には、甲府駅から早朝登山バスで約2時間。そこから標高差約1,600mを登る。



間ノ岳山頂

11 森林総合研究所からのお知らせ（公開講演会）



水を育む森林

平成30年度 森林総合研究所 公開講演会

日時
平成30年
10月16日 [火]
13:20~16:40

場所
ヤクルトホール
(東京都港区東新橋1-1-19 ヤクルト本社ビル)

入場無料・予約不要

12:30-	受付開始
13:20-13:25	開会挨拶
13:25-14:00	招待講演 水と生きる 持続可能な水資源を目指して サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社 水科学研究所 近藤 平人 氏
14:05-14:55 (前半の部)	森林流域からの水流出ーわかったこと、これからの課題ー 森林防災研究領域 領域長 玉井 幸治 森林が積雪・融雪に及ぼす影響ー水資源の確保に向けてー 森林防災研究領域 水保全研究室長 野口 正二
14:55-15:30	ポスター発表
15:35-16:25 (後半の部)	森林のきれいな水を脅かす大気からの多量の窒素流入 立地環境研究領域 土壌特性研究室長 小林 政広 森林に降る雨の旅路を科学する 森林防災研究領域 主任研究員 南光 一樹
16:25-16:35	全体質疑
16:35-16:40	閉会挨拶

主催 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所

後援 (一社)日本森林学会、(一社)水文・水資源学会



JR新橋駅「銀座口」より徒歩3分
都営地下鉄浅草線 新橋駅「汐留1番出口」より徒歩1分
都営大江戸線 汐留駅 徒歩5分
東京メトロ銀座線 新橋駅「2番出口」より徒歩2分
新交通 ゆりかもめ 新橋駅 徒歩3分



問い合わせ先

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 企画部広報普及科広報係
茨城県つくば市松の里1 TEL:029-829-8372 FAX:029-873-0844
Eメール:kouho@fprj.affrc.go.jp URL: https://www.fprj.affrc.go.jp/ffpri.html

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

12 8月期の住宅着工状況

平成30年8月期の県内新設住宅着工戸数は513戸となり、対前月比109.4%、対前年同月比91.4%、前年累計比117.2%となった。地域別では山形市、米沢市、長井市、川西町等が伸びている。木造率は今月79.9%となっている。

1 県内新設住宅着工戸数(平成30年8月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
8月	561	284	225	1	51	548	13	483	86.1%	358	13	112
29.1~8月	3,485	1,953	1,052	44	436	3,451	34	3,023	86.7%	2,179	67	777
9月	581	299	216	1	65	579	2	465	80.0%	330	6	129
10月	537	236	246	2	53	535	2	394	73.4%	279	8	107
11月	456	261	151	2	42	453	3	387	84.9%	310	9	68
12月	457	227	172	1	57	455	2	392	85.8%	268	8	116
30.1月	358	139	170	2	47	356	2	316	88.3%	183	4	129
2月	379	160	163	1	55	378	1	300	79.2%	205	5	90
3月	535	217	186	11	121	535	0	392	73.3%	219	9	164
4月	723	310	371	3	39	468	255	434	60.0%	318	11	105
5月	433	239	144	4	46	426	7	368	85.0%	248	7	113
6月	674	366	247	1	60	674	0	545	80.9%	389	14	142
7月	469	321	104	0	44	467	2	419	89.3%	302	8	109
8月	513	257	205	0	51	479	34	410	79.9%	275	16	119
対前月比	109.4%	80.1%	197.1%	-	115.9%	102.6%	1700.0%	97.9%	-	91.1%	200.0%	109.2%
対前年同月比	91.4%	90.5%	91.1%	0.0%	100.0%	87.4%	261.5%	84.9%	-	76.8%	123.1%	106.3%
29.1~当月計	3,485	1,953	1,052	44	436	3,451	34	3,023	86.7%	2,179	67	777
30.1~当月計	4,084	2,009	1,590	22	463	3,783	301	3,184	78.0%	2,139	74	971
対累計前年比	117.2%	102.9%	151.1%	50.0%	106.2%	109.6%	885.3%	105.3%	-	98.2%	110.4%	125.0%

2 地域別新設住宅着工戸数(平成30年8月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	513	4,084	91.4%	117.2%	3,184
山形市	160	1,306	103.9%	148.1%	852
上山市	18	89	300.0%	143.5%	74
天童市	14	203	42.4%	67.0%	188
山辺町	14	54	466.7%	142.1%	53
中山町	4	20	33.3%	80.0%	19
東南村山	210	1,672	101.0%	127.6%	1,186
寒河江市	30	183	69.8%	101.7%	181
河北町	6	48	60.0%	104.3%	45
西川町	0	6	0.0%	66.7%	5
朝日町	0	4	-	200.0%	4
大江町	2	15	66.7%	83.3%	14
西村山郡	38	256	61.3%	100.4%	249
村山市	7	48	53.8%	114.3%	46
東根市	29	239	78.4%	74.7%	225
尾花沢市	2	25	50.0%	52.1%	25
大石田町	0	3	0.0%	12.5%	3
北村山	38	315	69.1%	72.6%	299
村山地域	286	2,243	88.0%	112.2%	1,734
新庄市	6	102	85.7%	129.1%	98
金山町	3	6	-	600.0%	6
最上町	1	10	-	90.9%	8
舟形町	1	4	100.0%	80.0%	4
真室川町	0	0	-	0.0%	0

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	1	6	100.0%	300.0%	5
鮭川村	5	9	83.3%	112.5%	8
戸沢村	1	6	50.0%	150.0%	6
最上地域	18	143	105.9%	118.2%	135
米沢市	70	619	205.9%	174.4%	346
南陽市	8	59	36.4%	42.4%	58
高畠町	3	55	60.0%	137.5%	52
川西町	23	48	766.7%	218.2%	18
東南置賜	104	781	162.5%	140.5%	474
長井市	19	88	380.0%	139.7%	84
小国町	0	1	0.0%	12.5%	1
白鷹町	16	36	533.3%	150.0%	35
飯豊町	1	9	-	112.5%	8
西置賜	36	134	400.0%	130.1%	128
置賜地域	140	915	191.8%	138.8%	602
鶴岡市	33	329	38.8%	100.0%	314
三川町	1	39	100.0%	278.6%	37
庄内町	3	53	60.0%	151.4%	46
田川	37	421	40.7%	111.4%	397
酒田市	25	332	47.2%	105.4%	287
遊佐町	7	30	350.0%	230.8%	29
飽海	32	362	58.2%	110.4%	316
庄内地域	69	783	47.3%	110.9%	713

注:累計は平成30年1月~